

視聴覚教育

NO. 223

発行日 8. 6. 6

発行 岡崎市AVL
編集 広報委員会

視聴覚用語
『ズームング』
カメラの移動を行わずに、近づいたように大きく撮ったり(ズームイン)、遠ざかったようにして大きなものを画面に入れる(ズームアウト)撮影方法の一つ。ズームングの仕方により、変化のある映像を得ることが出来る。

平成八年度

自作ビデオ作品決定!

今年度も、現職教育委員会視聴覚部、社会科部、理科部による自作ビデオ教材制作が始まりました。次の六つのテーマに取り組みます。

『三河仏壇』

対象 小五社会 A班

数多くの職人たちの手によって作られる三河仏壇。塗師や蒔絵師たちの苦労や願いを紹介しながら、後継者問題などに直面した伝統工業の新しい方向性が理解できる作品としたい。

『岡崎の花火工業 — 玩具花火作りの今 —』

対象 中二社会 B班

打ち上げ花火が有名な岡崎の地に、今なお玩具花火作りを続けている花火職人がいる。岡崎の玩具花火の現状とこれからの課題や展望について、伝統工業という視点から探っていききたい。

『生き残りをかける米農家』

対象 小五社会 C班

様々な問題に直面する中で、たくましく生き

ぬこうとしている米農家にスポットをあて、生き残りをかけるための新しい経営方法や努力に迫っていききたい。

『水耕栽培にかける農家』

対象 小五社会 D班

請負耕作や農作物の直販など様々な工夫や努力によって生き残りをかける農家の中で、水耕栽培に取り組み、農業の新しい方向を求める人々の姿を追っていききたい。

『岡崎にもマグマがあった!』

対象 中三理科 E班

岡崎市に広く分布する花崗岩は、マグマがゆっくり冷えて固まった岩石である。この花崗岩が地下深くででき、地表に露出するまでの様子を追い、地殻変動や隆起、侵食のメカニズムに迫る。

『ササユリ』

対象 一般 F班

絶滅の危機にひんしている花「ササユリ」。この花を守ろうと立ち上がった中学生とその学区にスポットをあてる。ササユリ保護活動に取り組む姿から、自然を大切に作る心の大切さを伝えていきたい。

視聴覚教育あれこれ

(財)松下視聴覚教育研究財団

平成8年度視聴覚教育

研究助成研究校に

井田小学校・葵中学校が決定!

○研究課題

『情報を活用し主体的に学習する子の育成

— 通信型マルチメディア(インターネット)を利用しての環境学習 —

井田小学校

研究の内容

継続して研究を進めている環境学習に、通信型マルチメディアであるインターネットを効果的に活用する。インターネット上で、交流学习や環境に関する情報収集や発信を行うことで、子供の情報活用能力を高め、さらには国際理解力の基礎を養うことを目指す研究。

○研究課題

『やる気と思いやりを育てる教育の実現

— 不登校生徒の心の糧となるメディアセンター作り —

葵中学校

研究の内容

不登校生徒の心の居場所という新しい視点でのメディアセンターの運営や、校内放送を彼らの集団への適応の機会ととらえ、全校生徒とのかかわりを持たせる場とする。これをきっかけに、校内放送の充実を図り、校内放送を全校生徒一人一人に思いやりと存在感を持たせる場とする研究。

自作TPやビデオを 活用した「性教育」

山中小学校 本間 茂夫

本校では、『健康教育』の一環として、「**他の生命を尊重し、人としてよりよく生きる**」を旨として性教育に取り組んでいる。

資料は養護教諭を中心にして整理し、いったんが授業をしても利用できるように、各学年の内容に応じてそろえてきた。中でも、赤ちゃんが生まれるまでの過程を説明するための紙芝居や受精を説明するためのTP、胎児の成長についてのビデオなどは、子供たちが興味を持って、学習するための大切な資料となっている。

ビデオで胎児の様子を見た子供たちは、「あっ、赤ちゃんが動いた。生きてる。」

と、感動の声を上げた。6年生の授業参観で、エイズ学習につながる「白血球の働き」についてのビデオを見た保護者からは、

「本当に良く分かりました。今日は私たちが勉強させてもらいました。」

という声も聞かれた。学習の目的にあった視聴覚資料を活用することで、子供たちの学習



意欲が増し、効果が上がることを実感している。

今後も、自作の視聴覚教材の制作も含めて、学習に活用できる資料を整えていきたいと考えている。また、子供たちが自ら健康について学ぶために開設した「ヘルス・ライブラリー」(ビデオ・図書の貸し出しを行っている)の充実を図っていきたい。

Ⅱ レッツ トライ!!

ビデオカメラを 授業やクラブに生かして

ビデオカメラを行事の記録だけでなく、子供たちといっしょにビデオ作りをするために使ってみませんか。子供たちは、ビデオカメラで撮影するのも、されるのも大好きです。

本校の映像クラブの子供たちは、自分たちでシナリオを考え、ビデオ撮影をし、

「先生にインタビュー」「緑丘小の今と昔」などのタイトルを入れ、楽しくビデオ作りをしています。学

級でも、授業の記録だけでなく、年一回、学級の木で紹介ビデオを作ります。子供たちが、学級の木と触れ合ったことをビデオにまとめていきます。このように、ビデオ作りは、表現する楽しさとお互いを知る楽しさがあるのです。

(緑丘小 羽根 一夫)



ライブラリーだより

☆刊行物案内

・『視聴覚教材・機器利用の手引き』第1集

従来の「視聴覚教材作成の手引き」と「自作ビデオ活用事例集」の合本です。機器利用については、教材提示装置とビデオフロップレコーダーの二つの視聴覚機器を取り上げました。自作ビデオの活用については、実践事例をもとに解説してあります。今年度は、教師一人につき一冊を配布しました。手の届くところに置き、ぜひご活用ください。

また、ビデオソフト・LP教材一覧についても記載されています。授業等で使用したいソフトがあれば、ライブラリーまでご連絡下さい。

・『岡崎の視聴覚教育』 27号

平成7年度の岡崎市内の小中学校や幼稚園および社会教育における視聴覚教育の実践と、視聴覚ライブラリーの一年間の活動についてまとめたものです。視聴覚教育賞文部大臣賞を受賞した藤川小学校の論文をはじめ、優秀論文についても記載されています。

・『平成八年度放送番組と学習指導関連表』

小学校一年～二年 生活 道徳

三年～六年 社会 理科 道徳

中学校一年～三年 社会 理科

授業でご活用下さい。